

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

5- I -9

5- I -9

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	ブランドイメージの構築
節	I.佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	9 シンボルマーク、キャッチコピー等の設定	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	県文化課、佐渡市総合政策課、佐渡市観光振興課、佐渡市産業振興課、県中小企業団体中央会、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、(株)ゴールデン佐渡、佐渡汽船(株)
事業概要	【事業目的】 ○ 佐渡金銀山のブランドイメージを構築し、佐渡及び新潟県全体のイメージアップを図る。 【事業内容】 ○ シンボルマークやキャッチコピー等を設定し、佐渡金銀山のブランドイメージを効果的に発信する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ シンボルマーク、キャッチコピー等の設定の検討を進め、令和6年度末までに一定の方向性を示す。		
これまでの取組実績	○ 佐渡金銀山の露出拡大、イメージアップを図るための取り組みについて、庁内関係課での協議を進めた。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 世界文化遺産登録後に、新たなロゴマークデザインを設定する。 【R6年度実績】 ● 世界文化遺産登録後、一般公募により新たなロゴマークデザインを設定した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ B ・ C] ◇ 令和6年度に新たなロゴマークデザインを設定することができたことからB評価とした。		
課題	■ より効果的な方法でロゴマークの利用を勧めていく必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。